



# 長年の懸念のベイタウン ゴミ空気輸送システムに決着 新たな住民負担は無し!! 河野としのり県議、 企業庁長に12月5日の県議会にて 質問し回答を受ける。



12月県議会でベイタウンのゴミ空気輸送システムについて質問する河野としのり県議



河野としのり県議の質問に「住民負担は無し」と答える吉田企業庁長



住民負担についても質問する河野としのり県議

## 河野としのり県議

幕張ベイタウンについてお聞き致します。その一つは廃棄物空気輸送システム、所謂ゴミ空気輸送システムについてであります。幕張ベイタウンは、現在人口は2万3千7百人となり、当初の人口居住計画の2万6千人にもうすぐの所に来ています。この街に住もうと決めた多くの方々は清潔に保つゴミ空気輸送システムをその理由に掲げています。この事は本会議でも何度か述べさせて頂きましたが、それ故、マンション内に設備されたゴミ投入施設、地下のゴミ貯留槽装置等も含め、ゴミ空気輸送システムの一部をマンションの共有施設、共有財産として住民が購入している所でもあります。そこから地下の共同溝のパイプで、1万戸に及ぶ家庭のゴミがクリンセンターに輸送され、そこで圧縮され1台のゴミ自動車で焼却場に運ばれていきます。先の東日本大震災でも地盤改良が施された共同溝は液状化等の被害もなく、また稼働してから共同溝の輸送管が詰まったり、傷つく事も無く、極めて順調に運用されています。

こうした、住民にとっては切っ掛けで、1万戸に及ぶ家庭のゴミがクリンセンターに輸送され、そこで圧縮され1台のゴミ自動車で焼却場に運ばれていきます。先の東日本大震災でも地盤改良が施された共同溝は液状化等の被害もなく、また稼働してから共同溝の輸送管が詰まったり、傷つく事も無く、極めて順調に運用されています。

傷つく事も無く、極めて順調に運用されています。こうした、住民にとっては切っ掛けで、1万戸に及ぶ家庭のゴミがクリンセンターに輸送され、そこで圧縮され1台のゴミ自動車で焼却場に運ばれていきます。先の東日本大震災でも地盤改良が施された共同溝は液状化等の被害もなく、また稼働してから共同溝の輸送管が詰まったり、傷つく事も無く、極めて順調に運用されています。

## 吉田企業庁長

私からは、廃棄物空気輸送システムの千葉市への引継ぎと、引継ぎ後の経費負担についてのご質問にお答えいたします。

廃棄物空気輸送システムについては、平成27年度までに千葉市に引き継ぐ方向で協議を行っており、今年度内には千葉市との合意形成をはかりたいと思っております。



吉田企業庁長にベイタウンの問題を訴える河野としのり県議(11月29日企業庁長室にて)

また、引継ぎ後の経費負担については、千葉市は幕張ベイタウンのゴミ排出にかかる収集運搬費相当額を負担し、企業庁は回収費等それ以外の費用を負担することを検討しています。

なお住民負担については、現時点では考えておりません。



▲河野としのり県議が十数年前よりゴミ空気輸送システムについて企業庁に要望してきた、その議会報告

も切れないゴミ空気輸送システムですが、未だ、企業庁の土地造成整備事業が収束にあたり、千葉市への移管などを含めどうなるのか分からず、この十数年間、ずっとこの状態が続く、議会でも何度も質問を繰り返して来ましたが、残念ながら宙に浮いたままでありました。この地区に在住する議員としても、住民に対して説明が出来ない年月がずっと続いていきます。

そこで再度お聞きいたしますが、2万4千人の日々の生活に欠かせないこのゴミ空気輸送システムは、企業庁の事業収束にあたり、千葉市への引き継ぎの見通しはどうか。引き継ぎ後の経費負担及び住民負担については、どのように考えているのか、

